



1 磯の生物観察(磯ビンゴ)

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

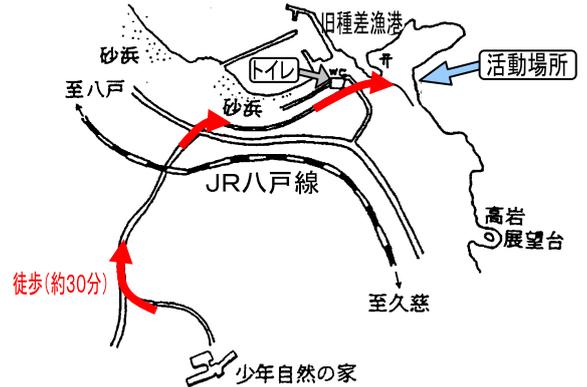
岩場で磯にすむ生物を探して観察します。見つけた生物を使ってビンゴを楽しむこともできます。

1 ねらい

磯にすむ生物の様子にふれ、生き物の不思議と自然の大切さを知ること、生命を尊重する心を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所 種差漁港奥の磯
- 人数 200人以内 (1グループ6～8人程度)
- ② 期間 4月～10月
- ③ 時間 2～3時間 (徒歩で片道30分程度)



3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・トイレトパー ・緊急車両 ※必要に応じて熱中症対策	・トイレにトイレトパーはありません
個人	・ぬれてもよい運動靴 ・タオル、軍手、帽子 ※必要に応じて雨具(雨合羽等)	・長靴、サンダルは危険です。
自然の家	☆無線機と救助ロープ ・ハンドマイク、説明用資料 ・磯ビンゴセット (バケツ1、ざる1、虫かご1、バット1、ビンゴ用シート1)	☆必ず持っていきます。 ・24セットまで

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
安全管理係	・これ以上行くと危険だと思われる場所に、救助ロープを持って立つ。
救護係	・緊急時の救護、搬送にあたる。

6 活動の流れ

- ① 物品の借用・移動
- ② 活動説明（代表責任者）
- ③ 生物の採取・分類
- ④ 生物を海へ返す
- ⑤ まとめ・移動
- ⑥ 自然の家で物品を洗って返却

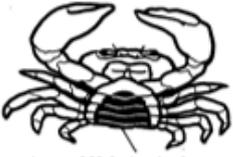
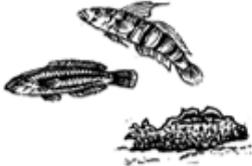
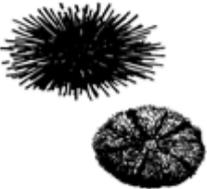
7 その他

- ・ 潮汐表で磯の状態を確認してください。干潮の 때가活動に適しています。
- ・ ウォークラリーと合わせて実施することもできます。
- ・ 説明用資料で、海の生物について学習することもできます。

《資料》 磯ビンゴ

- ① 採取した生物を分類するときに使う。
- ② 磯ビンゴ用シートをバットにしく。
- ③ ビンゴゲーム形式で楽しみ、磯の生物に親しむ。

磯ビンゴ用シート（例）

カニ（メス）  腹の横幅が広い	海藻 	ヤドカリ 
ヒトデ 	二枚貝 	魚かアメフラシ 
ウニ 	カニ（オス）  腹の横幅がせまい	巻貝 



2 星空のつどい

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

講師から星座や星の解説を受けた後、屋上で天体望遠鏡などを用いて星や星座の観察をします。

1 ねらい

星座や星を観察しながら、地球をとりまく宇宙の構造や季節との関係について学びます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 屋上・野外 200人程度
大ホール 180人以内、自然観察室 40人以内、小ホール 40人以内
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～1時間30分

3 職員の支援について

外部講師を依頼することができます。職員が活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	※講師を依頼した場合、講師料1名につき5,000円	※80名以上の団体は、講師が2名体制となります。
個人	・防寒着、防寒具	※種差は夏でも冷えます。
自然の家	・星座早見盤 ・天体望遠鏡 ・フィールドスコープ ・液晶プロジェクター ・懐中電灯、レーザーポインター ※講師から星座プリントが配布される場合あり。	・120枚 ・4台 ・10台 ・1台 ・屋外解説用

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・講師を依頼した場合、講師対応。
天体望遠鏡係	・1台につき1名必要。

6 活動の流れ

- ① 防寒着を持って大ホールに集合
- ② スライドなどを使った星空の解説
- ③ 屋上へ移動し、天体望遠鏡で観察
- ④ 大ホールへ移動し、まとめ

7 その他

- ・ 5月～7月上旬は海霧と梅雨のため、屋上での観測ができないことがあります。
- ・ 講師を依頼した場合は、曇天でもビデオやPC画像等を使用しての実施となりますので、プログラムの変更はできません。
- ・ 80名以上の団体は講師が2名となります。(講師料は合計1万円となります)



3 種差の植物観察

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

種差海岸を散策しながら、種差海岸特有の植物の観察をします。

1 ねらい

種差海岸の植物を観察することで、自然保護の大切さを学び、自然を尊ぶ心を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所 種差海岸遊歩道
人数 80人以内（1グループ15人以内）
- ② 期間 4月～11月（5月～10月はワンコインバスが利用できる。）
- ③ 時間 3～5時間（ルートによって変わる。）

3 職員の支援について

外部講師を依頼することができます。職員が活動支援にはいることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	※種差海岸ボランティアガイドクラブに講師を依頼する場合、講師1名につき講師料1,000円 ・トイレトペーパー ・緊急車両	・1グループにつき講師1名 ・トイレにトイレトペーパーはありません
個人	・野外活動に適した服装 ・タオル、軍手、帽子 ※必要に応じて雨具	
自然の家	☆無線機	☆必ず持っていきます。

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
解説係	・グループと一緒に歩き、資料と照らし合わせ、簡単な解説をする。 ※講師を依頼しない場合
救護係	・緊急時の救護、搬送にあたる。

6 活動の流れ

- ① 物品の借用・移動
- ② 活動説明（代表責任者）
- ③ 種差海岸を散策しながら植物観察
- ④ まとめ

7 その他

- ・ 講師を依頼する場合、事前に種差海岸ボランティアガイドクラブへ確認をするので、早めにご相談ください。
- ・ 講師を依頼しない場合、解説係がグループ数分必要です。その場合は、事前に研修することをおすすめします。
- ・ ワンコインバスの乗車料金は小学生50円、中学生以上100円です。5月から10月までの期間限定ですが、種差海岸駅から鮫駅までの海岸線を1時間に1本往復しています。乗車人数が多い場合は、早めに八戸市交通部に連絡することで、バスの台数を増やしてもらうこともできます。職員までご相談ください。

《資料》 種差海岸遊歩道所要時間





4 森探検

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

自然の家周辺の雑木林などを散策しながら、そこに生息する野生動物の足跡やこん跡を探します。

1 ねらい

生態や様子を探ることで、生命や自然を愛護する豊かな心情を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 種差少年自然の家周辺 40人程度（1グループ10人程度）
- ② 期間 12月～3月（降雪時が望ましい）
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

活動前に職員が説明を行うことができます。依頼があれば、案内や解説などの活動支援に入ることができます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	・野外活動に適した服装（防寒着、防寒具、長靴）	
自然の家	☆無線機（緊急連絡用として） ・双眼鏡 ・フィールドスコープ ・アニマルトラッキング資料	☆必ず持っていきます。 ・27台 ・10台

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
解説係	・グループと一緒に歩き、資料と照らし合わせ、簡単な解説をする。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 集合・活動説明（代表責任者）
- ② 班ごとに活動
- ③ 痕跡を探す
- ④ まとめ

7 その他

- ・ 解説係がグループ数分必要です。
- ・ 事前に自然の家で研修することをおすすめします。

《資料》

動物たちも人間と同じように、食べて、寝て、運動して、遊びます。
 その場所にいた動物が、
 「どこへ向かっているのかな？」
 「何を食べているのかな？」
 「どこで寝ているのかな？」
 「何という動物なのかな？」
 残された証拠を頼りに、推測してみよう。



まずは、足跡を見つけよう。

1 個ずつ交互になる。

2 個ずつ並んでいる。

Y 字のようになる。

どっちに進んでいるか、見きわめよう。

足跡をよく見てみよう。つめがあるほうが前ですよ。

つめが無ければ、指のほうが前ですよ。

ヒヅメは、細いほうが前ですよ。

手のひらです。

どこに隠れていたのか確かめよう。

動物も休むときには、すわるのさ。だから、**すわっていた部分の落ち葉がおされて土がむき出しになったり、雪がとけていたりします。**この部分の大きさを測るとその動物の大体の大きさが分かるよ。

足跡のそばに何か落ちていませんか。

フン (うんち)

尿 (おしっこ) の跡

においをかいでみよう。
何かが入っているかも

歩きながら何かしていませんか。

何かを食べていませんか

穴を掘っていませんか。

木の枝や幹にキズがつけられていませんか。